

記念クルーズ出港式・イルミネーション点灯式



佐世保東翔高校吹奏楽部による演奏でお見送り



佐世保港を出港する「ばしふいっくびいなす」



「ヒカリノミナト SASEBO」イルミネーションの一部

11月26日(土)、市制施行120周年記念事業の一環として、「佐世保市制120周年記念クルーズ出港式」と「ヒカリノミナト SASEBO 点灯式」を佐世保港国際ターミナル(三浦岸壁)で行いました。また、国土交通省が佐世保港を核としたまちづくりの拠点「みなとオアシス」に登録したことに伴い、登録証交付式も出港式と併せて行われました。

記念クルーズはクルーズ客船「ばしふいっくびいなす」に乗船して佐世保港を夕方に発航し、有明海を往復して翌日の夕方に佐世保港へ戻る1泊2日の行程でした。市民向けチケットも完売になるなど、多くの皆さ

んが参加して大好評のクルーズとなりました。

「ばしふいっくびいなす」は今回のクルーズが佐世保港への最後の寄港となるため、出港式では本市に対する感謝の気持ちを表した横断幕が掲げられました。

「ヒカリノミナト SASEBO」イルミネーションは、クルーズ客船の今後さらなる誘致と港のにぎわいづくりを目的として実施するものです。点灯式では、合図とともに、港周辺のイルミネーションが一斉に点灯し、佐世保港をさまざまな色の光で彩りました。3月31日(金)まで実施していますので、美しいイルミネーションをどうぞご覧ください。

問い合わせ みなと振興・管理課 ☎ 22-6127

させば文化マンス アルカスサセボ



4校合同チームで披露した「高校生書道パフォーマンス」



多くの声援で盛り上がった「ダンスパフォーマンス」



100人以上の有志が参加した「吹奏楽やろうぜ！」

本市は毎年11月を佐世保文化の強化月間「させば文化マンス」と位置付けており、ことしのメインプログラムである「アルカスサセボ」がアルカス SASEBO で11月26日(土)、27日(日)に開催されました。ことしはモデルのゆうちゃみさんをゲストナビゲーターに起用し、若者を中心に子どもから大人まで幅広い世代の皆さんが参加しました。期間中はダンスや音楽、空手などのステージパフォーマンスが披露された他、アルカス広場では飲食店マルシェなども行われ、多くの人を訪れました。

高校生書道パフォーマンスやダンスパフォーマンスで

は、出演者の本格的なパフォーマンスが披露され、観客の皆さんから大きな拍手が送られました。また、今回初めての取り組みとなる「吹奏楽やろうぜ！」には、佐世保東翔高校や九州文化学園高校の吹奏楽部員など総勢100人を超える有志で構成された楽団が参加しました。その演奏は圧巻で、観客の皆さんも演奏に手拍子で応えるなど、会場が一体となって楽しめる空間となりました。

26日には初めてステージに立つ人を応援する「ファーストステージコンサート」が行われ、これからの佐世保文化が楽しみとなるイベントとなりました。

問い合わせ 文化国際課 ☎ 24-1111、アルカス SASEBO ☎ 42-1111